

プロジェクト型学習とTikTokコンテンツ制作による上級日本語文法学習の強化

Enhancing Advanced Japanese Grammar Learning Through Project-Based Learning and TikTok Content Creation

リリ・ヘンドリアティ

ダルマ・プルサダ大学(インドネシア)

研究・実践の目的と背景:

デジタル時代において、特に上級レベルの日本語学習者は、複雑な文法パターンを習得するために文脈の深さとメディアへの関与が求められる。しかし、従来の授業では本物の応用や協働的な探求が不足していることが多い。本研究は、プロジェクト型学習(PjBL)とソーシャルメディアのコンテンツ制作、特にTikTokを統合することで、上級日本語文法の理解、関心、そして長期的な定着を促進することを目的としている。

研究・実践の概要:

この実践は、大学レベルの上級日本語文法の授業で『*New Approach Japanese pre-Advance Course*』という教科書を用いて実施される。学生は小グループに分かれ、それぞれのグループに特定の文法パターンが割り当てられる。毎週、あるグループが担当文法の意味説明と例文作成を通じて授業内で発表を行い、実際の文脈に応じた活用を行う。最終プロジェクトでは、学んだ文法パターンを正確に紹介する60秒以内のTikTok動画を制作する。